

中国 象山、慈溪の徐福

2014年10月、神奈川徐福研究会有志は、中国象山と慈溪の徐福に会いにきました。

写真撮影 津越由康

編集 伊藤健二



上海から寧波までは、間に深く入り組んだ杭州湾があるのだが、2008年、全長約35kmで世界第3位の長さを誇る杭州湾海上大橋を建設し、上海から寧波までは3時間で行けるようになった。(インターネットより。画面が鮮明ではありません)



寧波杭州湾大橋（インターネットより）



寧波市内見学

「天一閣」

翌20日は、寧波大学で日本語を学んだ孔さんの案内で市内を見学した。

写真は、明代に建設された、現存する中国最古の書庫である「天一閣」。

中は博物館となっており、見応えがあった。



神奈川徐福研究会の4人のメンバーと須田さん
（「天一閣」の中の麻雀の像と一緒に記念撮影）



開通したばかりの寧波の地下鉄
須田さんと通訳の孔さん。



費志軍先生との交流(10月20日)

費志軍先生は、中国徐福会理事で寧波市在住

なお、この日の夕方、佐賀県徐福会の澤野理事長を始め3名、
八女徐福会から赤崎事務局次長の計4名が合流した。

象山県の徐福

- 21日、チャーターしたバスで、寧波市内の象山県に向かった。(中国では、市の中に県がある)
- 2012年9月に当地で開催予定だった中国徐福文化象山国際会議が突然中止となり、神奈川徐福研究会のメンバーも、上海までの飛行機の切符のキャンセルが間に合わず、上海までの旅行を行いました。
- 象山県の徐福伝説は、同じく浙江省の慈溪市の徐福伝説とともに、2008年に「徐福東渡伝説」として国家級非物質文化遺産に登録された。



象山徐福会の皆様と撮影



丹山井

この地の徐福伝説は、他と少し変わっている。徐福はここに井戸を掘り道教の寺を建て、2年間隠遁したが、秦の始皇帝が東巡したとき、隠れることができず、三千人の童男童女、穀物の種と百工を率いて東の日本に渡った。現存の井戸は、明代に修復されたもの。



丹井の近くにある石碑
古い石碑を復元した。



「蓬萊觀碑」

元々は、唐大中2年（848年）建てられたものだが、近年古い石碑を復元したもの。

古い石碑の解読不明な部分は□にしてある。

書かれている内容は難解であり、調査中



象山蓬萊山 徐福隱跡所

彭氏の祖先が養生し、徐福が隠れ住んだ所とされている場所が道教の寺院となっている。

説明文は、句読点がなく、文語であるため、解読が困難



蓬萊觀(道教寺院)

階段上に立っている方が道士で、いろいろ説明していただいた。



徐福？



丹薬を作ったとされる岩屋

徐福东渡原因

徐福东渡，一般民间都认为是为秦始皇寻求长生不老药，所以求仙觅药在很长一段历史时期被公认为徐福东渡的原因。随着徐福研究的深入，很多学者认为，秦始皇是一个有雄才大略的历史人物，他早已知道人固有一死，所以倾国家之力营建地下皇陵，而且他也不可能，一而再再而三地被徐福欺骗。徐福索要三千童男童女和良种百工，有生聚教养和异地发展的目的，秦始皇可能懵懂一时，不可能在时隔七八年之久，一无所悟。再说徐福自己历经近十年的漂泊探索，难道还真的认为世上有灵丹妙药能长生不老么？

所以“海外移民”就被很多人认为是徐福东渡的原因。一些学者认为，徐福东渡是为秦始皇到海外开疆辟土。秦始皇与徐福达成高度默契，所以一再满足徐福的各种要求，包括最后派遣武士，装备强弓硬弩。但徐福在国内漂泊经营长达七、八年之久，更有隐迹象山之举，明显不是为秦始皇开疆辟土，他到达日本以后，“得平原广泽止王不来”的史实，也说明他不是忠心耿耿地为秦王朝卖命效劳。

应当说徐福东渡，是借为秦始皇寻仙觅药为名，行避秦求生存之实。早在北宋时期，避难到日本的祖元禅师就在徐福墓前献诗“先生采药未曾回，故国山河几度埃，今日一香聊远寄，老僧亦为避秦来”。目前徐福“三赚秦始皇”避秦东渡说，似乎已经被公认为徐福东渡的原因。



日本新宮徐福公園的祖元詩碑

徐福東渡の原因

徐福東渡は、一般的には秦の始皇帝が不老不死の薬を徐福に求めさせたのが原因とされている。

しかし秦の始皇帝の暗黙の了解の基に行った「海外移民」だったのではないか、としている。
(説明文の写真は、新宮の徐福公園にある石碑)



蓬莱山からの象山の街並み

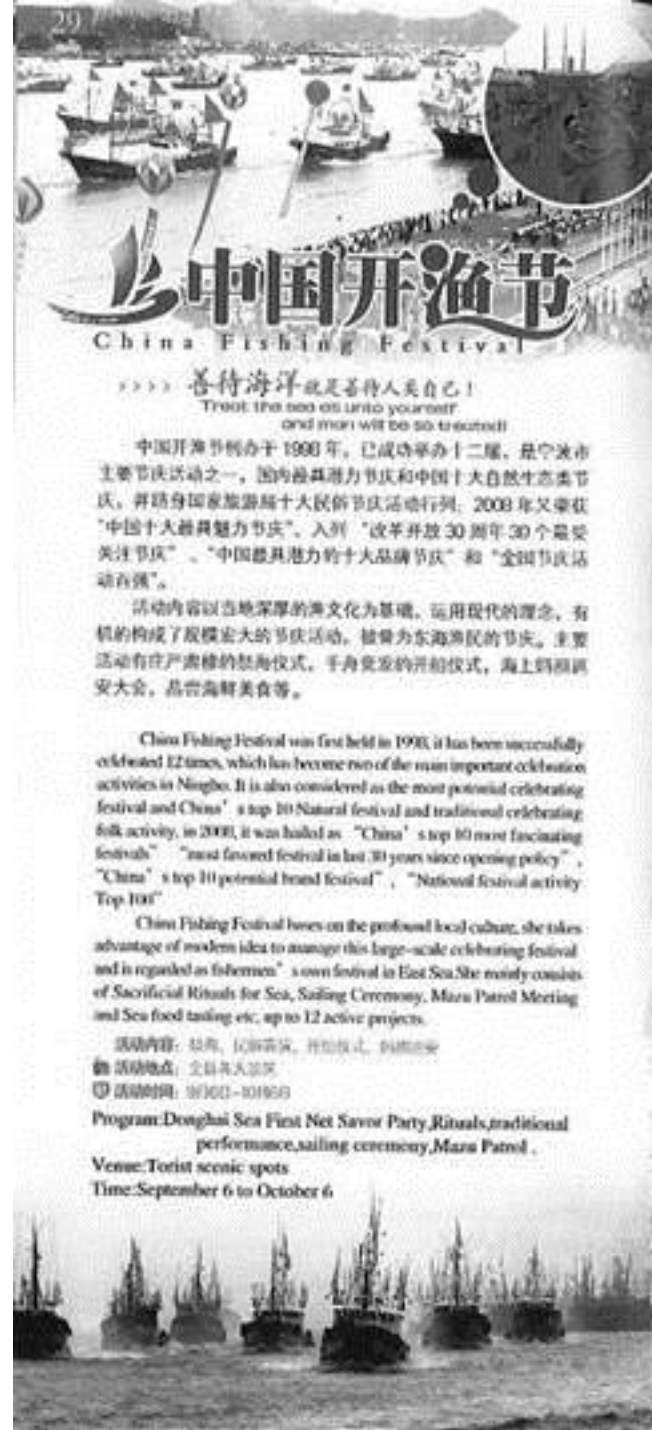
象山県は、寧波市内の南に位置し、人口約53万人
漁業がさかんで、海産物が豊富

象山の漁船が尖閣に？

2012年9月、尖閣諸島関係のデモが中国各地で行われたが、象山の漁船1000隻が尖閣諸島に向かった、との報道があった。しかし後にこれは象山の漁民の祭典のあと一斉に出港したもので、尖閣に向かった、というのはデマであることがわかった。

写真はAPF通信社

【9月17日 AFP】中国浙江省象山県の漁港で16日、東シナ海の休漁期間終了を受け、尖閣諸島、中国名：釣魚島、付近の海域へと漁船が出港した。(C)AFP



(東海日中関係学会理事 達志保氏のHPより)
「徐福東海」(徐福を通しての日中交流)
VOL.15(2013年9月)
「徐福伝説の日中交流再開に向けて」から抜粋

翌日24日、石浦漁港に案内いただきました。この漁港では毎年9月(旧暦の6月23日)に「中国開漁節」を行っているそうで、これは古くからの民俗行事であったのが、1998年から政府主導の祭りになったようですが、それまで禁漁で船を出せなかった漁民たちが一斉に船を出す祭りのようで、その時には2000艘もの船が漁港を出て行くと言います。ガイドブックの下の写真を見てもわかるように、その船団には圧倒されることでしょう。2012年9月、この船団の出発がまるで徐福が東海に船出していくようだからと、中国徐福文化象山国際会議はこの祭りの日にあわせて企画されていました。2012年9月16日、日本では尖閣諸島にむかう抗議の船だと報道されているのを見て驚きました。

慈溪の徐福

10月21象山を訪問した後、チャーターしたバスで慈溪に向かった。21日夜交流、22日は達蓬山に案内していただいた。



慈溪徐福会の皆様と撮 影(10月21日)

慈溪徐福会は、『徐福東渡的故事』
を発行し、神奈川徐福研究会は翻
訳し日本語版を発行した。





中国徐福文化園入り口

翌22日、達蓬山にある「中国徐福文化園」を訪れた。
「達蓬山」とは、蓬萊に達する山の意味で、徐福出航の
伝説がある。



「中国徐福文化園」入り口の看板
「羽田孜」の署名がある。

中国徐福文化园导览图

Guide Map of Chinese Xu Fu Cultural Park

中国徐福文化園ガイド図 중국서복문화원 안내도

1. 徐福像 Statue of xufu 徐福像 서복상
2. 祈求坛 Praying Altar 希求壇 기구단
3. 旗盘石 Banner Stone 旗盘石 기반석
4. 秦王鼎 Tripod of Qin Emperor 秦王鼎진왕정
5. 五行柱 Five Elements Pillar 五行柱 오행주
6. 乌龟石 Turtle Stone 龜石 거북석
7. 祭天场景 Sacrificing to Heaven Scene 天を祀る場面 제천장경
8. 达蓬阁 Of Peng Cabinet 達蓬閣 달봉각
9. 求仙亭 Pavilion of Praying to the Manitou 求仙亭 구선정
10. 古海洋贝壳化石 Fossil of Ancient Oceanic Shell
古海洋貝殼化石 동해양조개화석
11. 炼丹洞 Cave for Refining Elixir 鍊丹洞 연단동
12. 东渡石壁记 Sea-Voyage eastward stone Record 东渡石壁记 동도석벽기
13. 秦渡庵 Qindu Temple 秦渡庵 진도암
14. 龟鳖池 Terrapin Pond カメスッポン池 귀별지
15. 徐福宫 XuFu Palace 徐福宮 서복궁
16. 徐福文化展示厅Ⅰ XuFu Culture GalleyⅠ
徐福文化展示ホールⅠ 서복문화전시청Ⅰ
17. 徐福文化展示厅Ⅱ XuFu Culture GalleyⅡ
徐福文化展示홀Ⅱ 서복문화전시청Ⅱ
18. 鹿园 Deer Park 鹿園 녹원



「中国徐福文化園」の案内図

徐福伝説のある達蓬山に数年前、広大なテーマパークを建設した

中国徐福文化園概要

中国徐福文化園は徐福東渡の豊富な歴史遺存を美しい自然的景觀と一体に溶け込んで、徐福の勇敢開拓の航海精神と中国の伝統的な幸せと長寿文化を体現し、濃厚な歴史文化内容があります。徐福文化園は開発の時に十分な歴史的資源、文化内容を掘り起こし、重点的に徐福文化遺存の緊急措置をとって、徐福文化と秦文化を核心にして、幸せと長寿文化を特色にする、文化景勝地と美しい自然景色と結びつけるハイレベルの文化観光と特色生態文化観光地になりました。その中の徐福東渡摩崖石刻は今までのところ中国で発見された徐福東渡の場面を反映する唯一の物証です。非常に高い歴史文化的価値があります。

徐福文化園の案内看板

園内にある徐福象







ここは宋と元の時代の人達が徐福の東渡を偲ぶため残された遺跡である。崖絵は、高さ1.2メートル、幅3.5メートルである。畫面には「人馬歩金端」、「鯉の登龍門」、「麟鳳獻祥」など縁起のいい場面があり、徐福が童男童女を率いて達蓬山から出航するのを物語っている。清の康熙庚子のときに、僧侶の恵初は達蓬山を遊覧した際に、その上に仏壇を掘り、「靈臺自若」の文字を刻まれたそう。現在、全国では残された唯一の徐福の東渡を物語る遺跡である。

摩崖石窟の説明文

ここは宋と元の時代の人達が徐福の東渡を偲ぶため残された遺跡である。崖絵は高さ1.2メートル、幅3.5メートルである。書面には「人馬歩金端」、「鯉の登龍門」、「麒麟獻祥」など、縁起のいい場面があり、徐福が童男童女を率いて達蓬山から出航するのを物語っている。清の康熙庚子のときに、僧侶の恵初は達蓬山を遊覧した際に、その上に仏壇を掘り、「靈臺自若」の文字を刻まれたそう。現在、全国では残された唯一の徐福の東渡を物語る遺跡であろう。

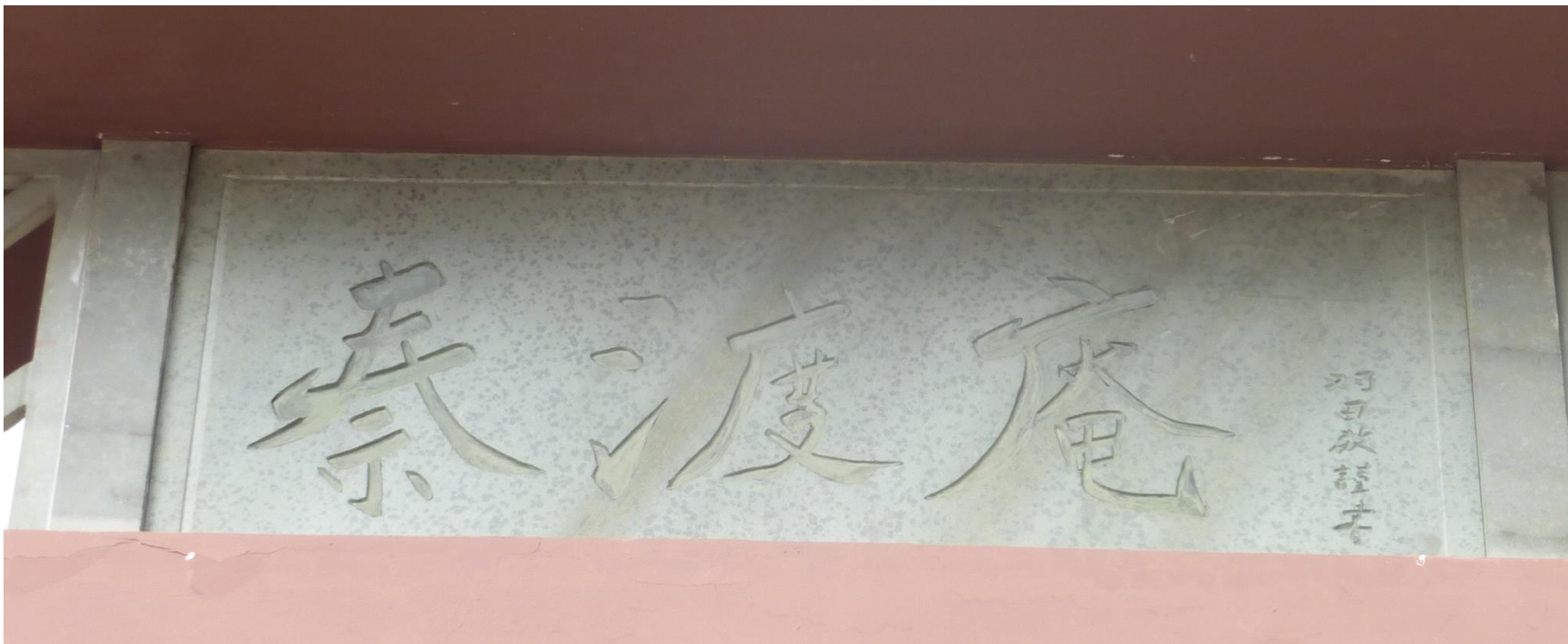


摩崖石刻

宋代に掘られたものであるが、実物は摩耗が激しく、これは復元した石刻



「靈臺自若」と書かれている。靈台は、祭壇の意味であるが、「心」の意味もある。「自若」は、「平常と変わらない」の意味であるが、「若」は、仏教で「真理を見極める知恵」の意味もある。



秦渡庵の看板

これも羽田孜先生の書



東渡場景

始皇帝は達蓬山に登り、30日間東の海を見渡し、一面の雲と霧のなかで蓬萊、方丈、瀛州との三つの山が見えたといわれる。この彫刻は、始皇帝と大臣李斯などが徐福から東渡の説明を聞くというシーンを表現している。(案内板より)

炼丹洞

徐福之师张仙修道炼丹之地。炼丹洞陈列着炼丹用的丹炉，散发出道家炼丹的神秘气息。

It was the place where Zhangxian, Xufu's teacher refined elixir. The furnace used for refining elixirs is displayed in the cave, emitting mysterious breath of Taoists' refining elixir.

ここは徐福の師である張仙が丹薬を作る場所である。煉丹穴には丹薬を作るいろりを展示して道家の神秘に満ちている。

소복지사 장선이 도를 닦으면서 수련한 곳입니다. 연단등은 단약 조제용 단로가 진열되어 있으며 도가연단의 신기한 맥이 묻어나는곳이기도 합니다.



焼丹洞

ここは徐福の師である張仙が丹薬を作る場所である。焼丹穴には、丹薬を作る炉を展示してあるが、道家の神秘に満ちている。
(日本語は一部修正)



東渡石壁記

蓬莱山の草、樹、石は、一つ一つが歴史の変遷を物語っている。黄宗義（1616年～1695年。歴史家、思想家）の詩「秦の始皇帝は何をここで仙人に求める」と言われたように、徐福の東渡を証明する歴史的証拠と言えよう。（案内看板より）



仙飲潭

伝説によると、唐の始めに、ある翁は、蓬山に登って柴を切りに行った時、二人の白髪の老人がこの淵で水を飲みながら、碁を打ち、一局の碁が終わると、ふわりふわりと飛び去っていたことを見ました。彼は家に戻ったら、既に百年間過ぎ去りました。

この淵は地元村民の天然ダムです。かつて仙人がここで水を飲んだことがあるため、今の名前になったそうです。(案内版より、以下略)



蓬莱山から見た風景

祈求壇

即ち千人壇のことである。
伝説によると、昔始皇帝は
会稽（紹興市南部に位置す
る山）に巡幸し、仙人に求
めるために山に登った。こ
こで山脈が東に海まで連綿
と続いたのを見て、徐福に
命令を出して壇を作らせた。
ここは徐福が三千人の童
男童女を率いて天に福を
祈願し、海を祭る場所でも
あった。（案内版より）

徐福記念館

年、須田さんと田島さん及び慈溪市人民政府が出資し、慈溪に徐福記念館を建設した。

一階は展示室、事務室応接室があり、2階には宿泊施設もあるが、近年は活用されていないようだ。



徐福記念館正面



入口の表札
(羽田孜先生の書)

徐福記念館 の徐福と童 男童女





展示室内部



展示物



宿泊施設

このほか広い和室があり、大勢の人が宿泊できる。